

あそびは学び

現在は核家族、少子社会、母親の社会進出と、子どもたちにとってかならずしも幸せとは言えない社会の変貌。

昔は、大家族の生活が一つの社会としての役割を果し、又地域でも、人と人のふれ合いの中で、人となり、を学ぶことができた。現在は少い子に大きな期待をかけ親も子も心のゆとりがなくなってきたように思う。

あそびの変化も例外でなく、社会の移り変りとともに、集団から個人へ、戸外から室内へと変わりつつある、私たちが子どものころは、野山を駆け回り、自然を友とし、自然物を利用してさまざまな工夫をしてあそんだものだ、子どもは自分の生活圏内（家庭、保育所、幼稚園、地域）等の環境の中でさまざまなあそびを通していろいろなことを身につけていくものと思うが、現在は少子家族ゆえに、物の与えすぎや放任（良い意味での）ができず手をかけすぎ伸びようとする芽を摘んではないいだろうか。子どもたちは生来、知りたい、という欲求をもっているもの、その欲求が満足でき感動を共有できる場があってはじめて感性や意欲が生れてくるものと思う、その場を与えてやるのが私たち大人の役割と思う。

子どもの豊かな育ちのためのあそびをもう一度考えてみよう、子どもにとってあそびとは何かを。

本来、子どもはあそびが主体でその中に生活があり、あそびがすべての出発点となる、①自分の興味のあるものを見つけ、自分から働きかける、②その子なりの目的をもって、その実現に向けて工夫する、③たのしさがわかり、友だちと力を合せる協力の芽生え、④その素材に対する理解が出てきて知識を広げていき、イメージをふくらませていく、⑤完成のよう



こびや、友だちとの関係が深まる。一つのアソビでの役割や分担が自然にでき、アソビが展開されることは、十分にアソビ込んでいかないと成れない技であり、アソビの中でさまざまな経験を通してアソビの楽しさ、自然の厳しさや危険、美しい自然を愛すること、小さい子をいたわるやさしい心、物の尊さなど、教えられるのではなく、自分で感じとりそれを伝え合っていくことができるようになろう、大人の目、をしつかりと

したものにしたいものだ、あくまで子どもの主体性を尊重するアソビでなくてはならない、子どもにとってアソビは、すばらしい勉強であり、勉強はたのしいアソビなのである。

人としての人格を形成する大切な幼児期、アソビの重要性を認識し、いろいろな経験をさせてあげたいものだ。

「三つ子の魂しひ百まで」と古くから言われてきた、三歳までの子育てが、その後の人生に大きな影響を与えるとのこと、ですから親はもっと感心をもって子育てをしたいものだ、親との情緒的な結びつき、十分なスキンシップ、子どもが満足感をもって、安心してアソビに集中し「意欲」をもって生き生きと活動できることが大きく成長させることと思う。

また、何よりも必要なことは、子どもの正しい人格を形成させるためには、親が、まわりの大人が教育するだけの人格の持ち主であるかを考えてみることで、そのためには大人も努力を惜まず、自身を高めていくことで子どもにも模範を示していきたいものだ。

真の教育は、生活から避難した「教育のための教育」でなく、しかも生活習慣の訓練に終るのではなく、楽しく且つ、充実した生活こそが子どもを豊かに育むことだと思う。

グラススキー教室参加者募集

鹿留緑地広場グラススキー場では、山梨ロマン街道の一環としてグラススキー教室を開催します。新しいスポーツとして、グラススキーはスノースキーと同じ感覚で滑走することが出来ます。

初めての人も初歩からレッスンしますので、どうぞ奮って参加してください。

日時 5月26日

午前9時受付
10時教室開始

定員 50名（定員になり次第締め切り）

参加費 無料

用意するもの：スキー靴、ストック、手袋、長袖トレーニングウェア

子ども囲碁教室

参加者募集

前年度にひきつづき、六月から、子ども囲碁教室を開設します。奮ってご参加ください。

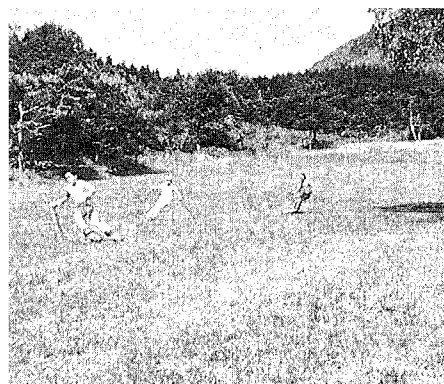
日時 毎月第四土曜日
午後1時30分～

場所 文化会館

資格 市内小中学校児童生徒

指導者 市内の小中高校の現・退職教職員

参加費 無料



※スキー靴、ストックのない方は会場に用意してあります。

問合先 鹿留緑地広場グラススキー場 ☎(45)1388

主催 中央公民館

申込締切 6月18日

申込・問合先 中央公民館 ☎(43)1451

*詳細は申込者に連絡します。

*児童生徒と同伴の保護者も参加を歓迎します。

第7回「税を知る」

図画コンクール

特別賞

都留市教育長賞

矢島えみ(宝小)